



OPEN HOUSE ARENA OTA

木田市総合体育館

視 察 報 告

(県立スポーツ施設のあり方検討会)

視察の概要（その1）

1. 視察日

- ①令和6年9月26日
- ②令和6年9月27日

2. 視察先

- ①エフピコアリーナふくやま
- ②GLION ARENA KOBE

3. 視察者

- ・前田委員長
- ・丸副委員長
- ・高知県スポーツ課 北
- ・高知県スポーツ課 福島



視察施設の概要（その１）エフピコアリーナふくやま

項目	【高知県】 県民体育館	①【広島県】 エフピコアリーナふくやま	規模・機能・特筆すべきポイント
施設外観			【規模】 左記のとおり 【機能】 ・屋外イベント用の広場も広く、用途は豊富である。 ・<u>スケートパークを整備</u>。若者に大変人気のエリア。 ・<u>ボルダリングスペースを確保</u>。公式戦も可能。 ・駐車場はMAX1000台。通常でも500台以上 ・駐車場を有料化（初回 2 時間無料。以降 1 時間100円）。駐車場だけでもかなり高額収入が予想される ・<u>エレベーターはガラス窓を設けてあり、外部から視認でき、障害者に配慮している。</u> 【特筆すべきポイント】 ・芦田川が隣接しており、当該敷地は氾濫浸水区域（3m）である。アリーナ敷地は盛土をし、避難施設となっている。<u>子ども用の遊具は浸水時には雨水貯留槽となり、隣接する広大な広場も雨水が貯まるように設計している。</u>堤防もあり、越水してもアリーナに備蓄品を完備している。
設置者 設置年	高知県 1973年（S48）	福山市 2019年（R 元）	
面積 (敷地・建築・延床)	10,714㎡（敷地面積） 6,094㎡（建築面積） 8,901㎡（延床面積）	33,674㎡（敷地面積） 13,868㎡（建築面積） 16,238㎡（延床面積）	
収容人数 観客席数	4,644人 (固定席：1,572席)	5,000人 (固定席：2,100席)	
メインフロア面積	1,945㎡	2,600㎡	
プロチーム の利用	無	有 広島ドラゴンフライズ（B1）	
特徴	—	・3棟をデッキでつないだ構造 ・施設命名権の導入	
人口規模 (令和6年4月現在)	657,955人【高知県】 314,116人【高知市】	456,511人【福山市】	
財政規模 (財政力指数・R4)	0.27368（4 6 位）	0.59373（1 4 位）	

視察施設の概要（その1）エフピコアリーナふくやま



外観・屋外スペース



市内最大級の遊具（防災対策あり）



有料駐車場（最大1,000台）



メインアリーナ（最大5,000人収容）

視察施設の概要（その1）エフピコアリーナふくやま



サブアリーナ



観客席（固定席2,142席）



スケートパーク



武道場

視察施設の概要（その1）GLION ARENA KOBE

項目	【高知県】 県民体育館	②【兵庫県】 GLION ARENA KOBE	規模・機能・特筆すべきポイント
施設外観			【規模】 左記のとおり 【機能】 ・屋外イベントスペースには、4,000人収容可能 ・VIPルームを20室完備。1室2,000万円／年 ・国内アリーナ最大級の4 KLEDビジョンを常設導入 【特筆すべきポイント】 ・観客席は横ではなく縦に広がる設計。遠くの席でもコートやステージが見やすい。 ・270度海に囲まれた圧倒的な立地（※世界初の突堤に建つアリーナ） ・アリーナ基点でのまちづくりや社会課題解決を目的としたパートナーシップによる共創／協業 ・旧居留地、中華街、メリケンパーク等の周囲の観光地との回遊性が高い。 ・関西に数少ない最大1万人収容アリーナ ・独自のアプリやペイメント実装によるデータ集積と活用
設置者 設置年	高知県 1973年（S48）	（株）スマートバリュー 他 2025年4月予定（R7）	
面積 （敷地・建築・延床）	10,714㎡（敷地面積） 6,094㎡（建築面積） 8,901㎡（延床面積）	23,700㎡（敷地面積） 31,800㎡（延床面積）	
収容人数 観客席数	4,644人 （固定席：1,572席）	10,000人以上	
メインフロア面積	1,945㎡	—	
プロチーム の利用	無	有 神戸ストークス（B2）	
特徴	—	・完全な民設民営 ・270°海に面したアリーナ ・充実した屋外スペース	
人口規模 （令和6年4月現在）	657,955人【高知県】 314,116人【高知市】	5,338,575人【兵庫県】 1,492,862人【神戸市】	
財政規模 （財政力指数・R4）	0.27368（46位）	0.62093（10位）	

視察施設の概要（その1）GLION ARENA KOBE



外観イメージ（アリーナHP参照）

視察の概要（その2）

1. 視察日

③令和6年10月2日

④令和6年10月3日

2. 視察先

③青森市総合体育館

④秋田県庁

3. 視察者

- ・前田委員長
- ・高知県スポーツ課 北
- ・高知県スポーツ課 福島



視察施設の概要（その2）青森市総合体育館 カクヒログループスーパーアリーナ

項目	【高知県】 県民体育館	③【青森県】 青森市総合体育館 カクヒログループスーパーアリーナ	規模・機能・特筆すべきポイント
施設外観			【規模】 左記のとおり 【機能】 ・駐車場台数、約300台（イベント時最大1200台） ・メインアリーナには11 tトラックの乗り入れが可能。 ・バス会社と協議し、アリーナオープンに合わせて、新たなバス停を <u>設置</u> ・防災倉庫を有しており、有事の際は、避難所となる一方で、物資を地域に配る拠点となる機能を備えている。 【特筆すべきポイント】 ・屋内に県内最大級のキッズルームがあり、常に子どもでにぎわっている。 ・屋外には、多目的広場(5,000㎡)、子ども広場(4,500㎡)、<u>イベント広場(1,000㎡)</u>があり、屋外イベントの開催も可能。 ・有名建築家の隈研吾氏が設計。 ・青森県が「青い森アリーナ（マエダアリーナ）」（青森ワッツ（B2）のホームアリーナ）を管理し役割分担。
設置者・設置年	高知県 1973 9 年（S48）	青森市 2024 年（R 6）	
面積 (敷地・建築・延床)	10,714㎡（敷地面積） 6,094㎡（建築面積） 8,901㎡（延床面積）	51,000㎡（敷地面積） 9,822㎡（建築面積） 12,063㎡（延床面積）	
観客席数	4,644人 (固定席：1,572席)	5,000人 (固定席：1,254席)	
メインフロア面積	1,945㎡	2,000㎡	
プロチームの利用	無	有 青森ワッツ（B2）	
特徴	—	・大型遊具が常設された室内キッズルームを整備 ・施設命名権の導入	
人口規模 (令和6年4月現在)	657,955人【高知県】 314,116人【高知市】	265,073人【青森市】	
財政規模 (財政力指数・R4)	0.27368（4 6 位）	0.35739（3 7 位）	

視察施設の概要（その2）青森市総合体育館 カクヒログループスーパーアリーナ



外観・屋外スペース



屋根付き屋外スペース



メインアリーナ（最大5,000人収容）



11tトラック搬入口

視察施設の概要（その2）青森市総合体育館 カクヒログループスーパーアリーナ



屋内キッズルーム



観客席（固定席1,254席）



多目的室（鏡面あり）

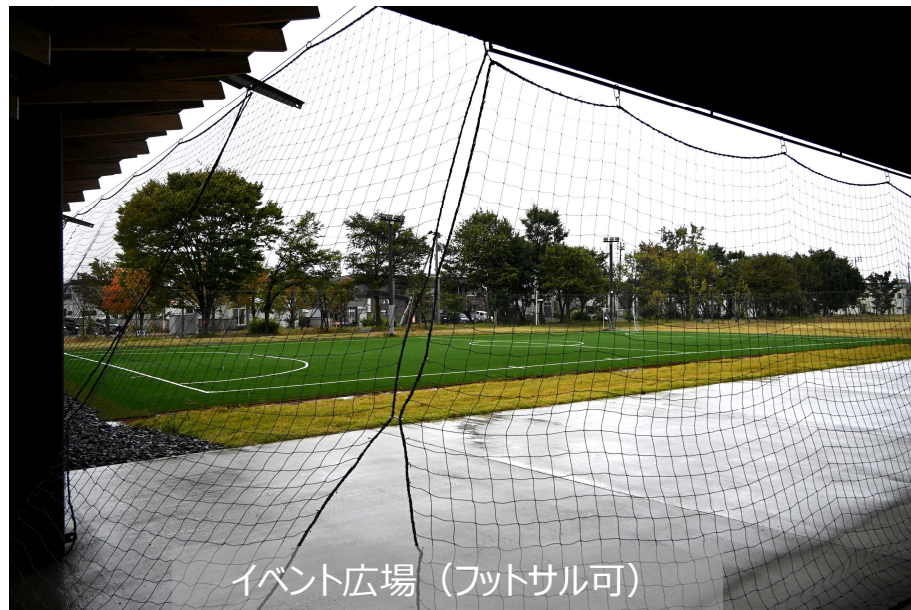


サブアリーナ

視察施設の概要（その2）青森市総合体育館 カクヒログループスーパーアリーナ



新設されたバス停



イベント広場（フットサル可）



公募対象公園施設（カフェ）



備蓄用倉庫

視察施設の概要（その2）新秋田県立体育館(仮称)

項目	【高知県】 県民体育館	④【秋田県】 新秋田県立体育館(仮称)	規模・機能・特筆すべきポイント
施設外観		【計画中】	【規模】 左記のとおり 【機能】 ・トップスポーツや中体連・高体連の全県大会等の利用を優先しつつ、コンサート等にも対応できる施設。 ・メインアリーナ（アリーナ）の機能として、B プレミア基準を上回る6,000人以上の観客を収容。 ・サブアリーナ（体育館）の機能として、バスケットボール公式規格で2面の広さを確保し、200人以上の観客を収容 ・人口減少に対応し、現在の県立体育館とスポーツ科学センターを集約化・複合化することで、公共施設の効率的な運営を図るとともに、デジタル技術を活用し、未来志向の施設を整備。 ・スポーツ医・科学の機能として、アスリートを対象とするトレーニングや体力測定等を行える設備を整備 ・緑地、遊具と500台程度の駐車場をセットで整備。
設置者 ・設置年	高知県 1973 9 年（S48）	秋田県 2028年予定（R10）	
面積 (敷地・建築・延床)	10,714㎡（敷地面積） 6,094㎡（建築面積） 8,901㎡（延床面積）	223,400㎡（敷地面積） 10,000㎡（建築面積） 17,000㎡（延床面積）	
観客席数	4,644人 (固定席：1,572席)	6,000人以上	
メインフロア面積	1,945㎡	バスケットコート2面以上	
プロチーム の利用	無	有 秋田ノーザンハピネッツ（B1）	
特徴	—	・スポーツ医科学サポートが行える設備を整備 ・PFI事業（BTO方式）	
人口規模 (令和6年4月現在)	657,955人【高知県】 314,116人【高知市】	902,060人【秋田県】	
財政規模 (財政力指数・R4)	0.27368（46位）	0.35923（44位）	

視察の概要（その3）

1. 視察日

- ⑤令和6年10月9日
- ⑥令和6年10月10日

2. 視察先

- ⑤太田市総合体育館
- ⑥かみす防災アリーナ

3. 視察者

- ・高知県スポーツ課 北
- ・高知県スポーツ課 福島



視察施設の概要（その3）太田市総合体育館 オープンハウスアリーナ太田

項目	【高知県】 県民体育館	⑤【群馬県】 太田市総合体育館 オープンハウスアリーナ太田	規模・機能・特筆すべきポイント
施設外観			【規模】 左記のとおり 【機能】 ・駐車場台数、約1,200台（イベント時最大1,400台） ・可動席は電動式。イスの折り畳みは手動。 ・トイレは混雑を回避するために一方通行（OneWay型）
設置者 設置年	高知県 1973年（S48）	太田市 2023年（R5）	【特筆すべきポイント】 ・メインアリーナは黒を基調としており演出を重視（事業者提案） ・2F観客席にはリボンビジョンを採用 ・インカレ、インターハイの決勝会場として使われている。 ・Bリーグ試合日は、クラブ側がキッチンカー、シャトルバス等を手配。 ・隣接している旧体育館は、用途の使い分けをされており、当分の間は取り壊す予定なし。
面積 (敷地・建築・延床)	10,714㎡（敷地面積） 6,094㎡（建築面積） 8,901㎡（延床面積）	158,789㎡（敷地面積） 7,327㎡（建築面積） 10,611㎡（延床面積）	
観客席数	4,644人 (固定席：1,572席)	5,000人	
メインフロア面積	1,945㎡	2,460㎡	
プロチーム の利用	無	有 群馬クレインサンダーズ(B1)	
特徴	—	・大型の四面ビジョン ・VIPルームの設置 ・数多く設置された照明	
人口規模 (令和6年4月現在)	657,955人【高知県】 314,116人【高知市】	222,349人【太田市】	
財政規模 (財政力指数・R4)	0.27368（46位）	0.60670（12位）	

視察施設の概要（その3）太田市総合体育館 オープンハウスアリーナ太田



外観



イベント広場（屋外スペース）

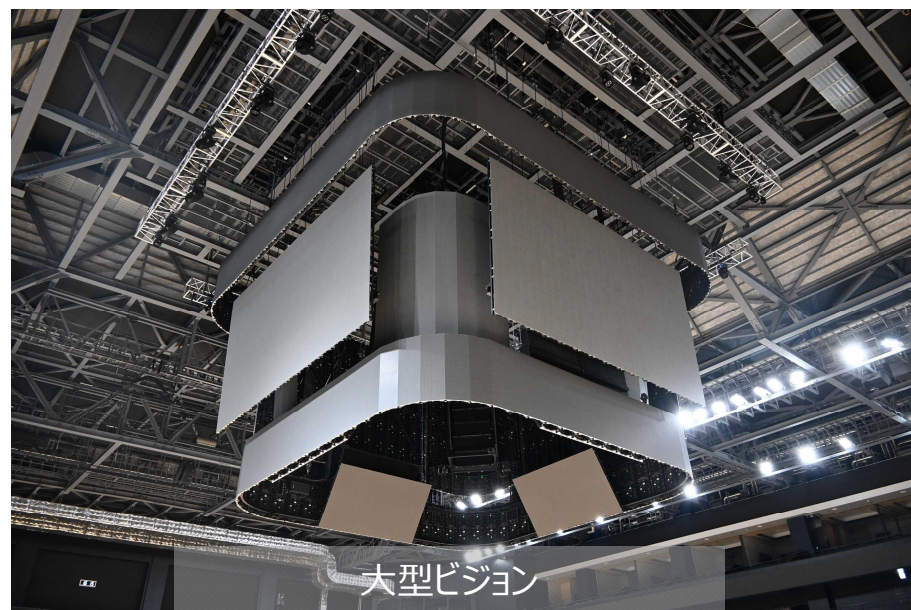


屋外スペース（3 on 3）

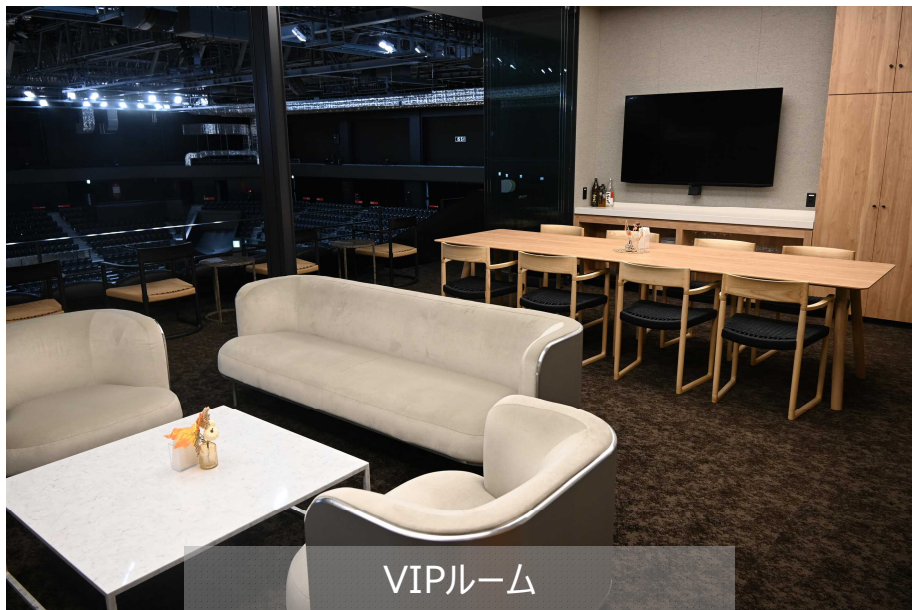


遊具

視察施設の概要（その3）太田市総合体育館 オープンハウスアリーナ太田



視察施設の概要（その3）太田市総合体育館 オープンハウスアリーナ太田



視察施設の概要（その3）かみす防災アリーナ

項目	【高知県】 県民体育館	⑥【茨城県】 かみす防災アリーナ	規模・機能・特筆すべきポイント
施設外観			【規模】 左記のとおり 【機能】 ・施設の高さ17m（メインアリーナ内12m） ・<u>トイレの数、便器の数は多めに設計。</u> ・<u>電気系統等の重要設備は2階以上に完備。</u> ・<u>非常用電源3日分稼働可能。</u> 【特筆すべきポイント】 ・避難所であるため、<u>窓を多く設置し、電気を使用せずに自然光だけで500ルクスある。</u> ・サブアリーナは曜日によって競技を限定している。 ・<u>ホールはあえて小さく設計。</u>他の施設との使い分けが目的。 ・各諸室は公園から見える設計。 【その他】 ・当初の計画では4階。<u>避難のしやすさ優先し2階に変更。</u> ・Bリーグの試合も開催されるが、ホームアリーナではないため、基準をすべて満たしているわけではない。（VIPルーム、大型ビジョンなし） ・メインアリーナでのイベント時のパイプ椅子は業者手配のため、常時準備はしているわけではない。
設置者 設置年	高知県 1973年（S48）	神栖市 2019年（R元）	
面積 (敷地・建築・延床)	10,714㎡（敷地面積） 6,094㎡（建築面積） 8,901㎡（延床面積）	29,463㎡（敷地面積） 13,891㎡（建築面積） 20,145㎡（延床面積）	
観客席数	4,644人 (固定席：1,572席)	5,000人 (固定席：2,500席)	
メインフロア面積	1,945㎡	2,410㎡	
プロチーム の利用	無	有 茨城ロボッツ（B1）	
特徴	—	・防災拠点として位置づけられた多目的施設 ・避難施設の運営管理を想定した設備を整備	
人口規模 (令和6年4月現在)	657,955人【高知県】 314,116人【高知市】	93,908人【神栖市】	
財政規模 (財政力指数・R4)	0.27368（46位）	0.62985（8位）	

視察施設の概要（その3）かみす防災アリーナ



視察施設の概要（その3）かみす防災アリーナ

